

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	11
事業名	体育振興経費	
	会計	款
	一般	10
		6
		2
施策	3	心豊かなまち
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる
	3-1-4	スポーツの振興
主要施策	②多様なスポーツ活動の普及促進	③スポーツ団体、指導者の育成

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民にスポーツの場を提供し、またスポーツを通じた地域のコミュニケーションの輪を広げ、住民にとっての明るく健康的なまちづくりを行う。
事業内容	誰もが気軽に参加できる、地域住民による自主的・主体的なスポーツ行事の企画・運営（スポーツ教室及び対抗戦等スポーツイベントの開催、広報活動による啓発・周知、指導者の確保・育成）の基盤づくりを支援する。また、町民体育祭や駅伝大会の開催について、前年度までの反省事項を基に、検証・協議し、各種目の見直しやニーズの高い趣向を新しいプログラムに取り入れるなど、参加しやすい、または参加しなくなる大会となるよう努める。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	総合型地域スポーツクラブ（フレンドリークラブ）会員数	688	587	603	人	↑	800
2	教室参加人数	19,350	16,090	16,523	人	↑	17,000	
3	町民体育祭・駅伝大会参加自治会数	23	23	23	自治体	→	23	
4								
5								
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					27,919	25,351	28,940	
財源内訳	直接事業費A				25,507	22,279	25,406	
	うち一般財源				24,050	20,948	24,006	
人件費（千円）B					2,412	3,072	3,534	
内訳	一般職員（人・千円）		0.33	2178	0.43	2838	0.5	3300
	臨時職員（人・千円）		0.13	234	0.13	234	0.13	234

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	自治会対抗行事の在り方を検討する。	③取組の課題	自治会対抗種目の選手集めに、苦慮している自治会がある。
②R1年度に実施した取り組み	町民体育祭を半日開催とした。	④今後の改善計画	自治会対抗種目のあり方等を検討する。